

環境教育の人材派遣

< 環境政策課 >

平成19年4月1日に体系的な環境教育の推進を図るため、学校等の環境教育の場へ環境に関する専門的な知識を有する又は活動経験を有する環境教育アドバイザーを派遣する制度を創設しました。平成21年度は、市内の小中学校、その他の団体に延べ25回環境教育アドバイザー等を189人派遣しました。

環境出前講座

< 環境政策課 >

主に小中学校からの要望に基づく環境出前講座を実施しました。講師は市職員と事業者で、平成21年度は7回開催し、受講者数は合計475人でした。

平成21年度は表7-4、表7-5のとおり実施しました。

表7-4 環境出前講座実績

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
回数(回)	17	16	14	22	7
受講者数(人)	1,049	756	774	1,242	475

表7-5 環境出前講座 平成21年度の内訳

No.	月日	対象者	人数(人)	場所	内容
1	5月25日	深沢幼稚園	200	深沢幼稚園講堂	地球温暖化とごみの分別
2	6月30日	御成中学校	109	御成中学校	鎌倉市の環境について
3	10月28日	かまくら食育クラブ	12	玉縄学習センター	鎌倉市における環境への取組
4	11月6日	大船中学校	6	鎌倉市役所	鎌倉の環境について
5	12月1日	西鎌倉小学校	8	鎌倉市役所	鎌倉の環境について
6	2月26日	御成小学校	80	御成小学校	地球温暖化、電気自動車
7	3月11日	七里ガ浜小学校	60	七里ガ浜小学校	地球温暖化、電気自動車
合計			475		

かまくら食育クラブ養成講座

< 市民健康課・環境政策課 >

「かまくら食育クラブ養成講座」(地域で鎌倉の食育を推進するボランティアを育成する講座)において食を通して環境を考える単位を設けています。

この中で「食の3Rを考える」と題した講話や環境に配慮した調理実習を行い、併せて環境政策課職員が地球温暖化の現状やその対策などについて話し、省エネ行動・環境にやさしい生活の普及啓発を行いました。

「収穫まつり」における環境保全、地産地消PR活動

< 環境政策課・資源循環課・市民健康課 >

毎日の生活の中で、ごみダイエットや省エネ行動などを心がけることで、鎌倉にも、地球にも、そして、体にも優しい環境づくりを考えていただくことを目的とするPR事業として「からだ元気・かまくら元気・地球元気in収穫まつり」のブースを設置しました。(秋の収穫まつり実行委員会主催「収穫まつり」会場・大船中学校) また、かまくら食育クラブ(地域で鎌倉の食育を推進するボランティアのネットワーク)

の協力で、鎌倉で育った農作物を利用したメニューの提供を行い、地産地消をPRしました。

鎌倉市職員的环境教育

< 環境政策課 >

市では、環境保全に関する職員の資質を高めるため研修等を実施しています。平成21年度は表7-6のとおり実施しました。

表7-6 エコアクション事務局により実施した環境保全に関する研修

研修等の名称	対象・参加人数	内容
平成21年度鎌倉市役所エコアクション21環境監査員、実行推進員研修会	環境監査員 実行推進員 21名	地球温暖化の現状と鎌倉市役所エコアクション21環境監査について
実行推進員結果報告会	実行推進委員 11名	鎌倉市役所の環境マネジメント報告書平成21年度版、外部環境監査報告書について
不要紙類分別	実行推進委員 41名	不要紙類分別回収業務を体験
エコドライブ講習会	実行推進委員等 39名	エコドライブについて

教育研修会の実施

< 教育センター >

平成20年度より毎年鎌倉の植物に視点を当てた研修会「植物の教材化」を企画している。鎌倉市内の各地域における植物を活用して、生活・理科の授業での教材化をはかり、身近な環境への興味・関心を喚起する取組を行っている。

環境保全に関する作品コンクール

< 環境保全課・みどり課・下水道課 >

夏休みの自由研究として、平成7年度から毎年、市内の小学校4～6年生と中学生を対象に環境保全に関するポスターの「作品コンクール」を実施しています。

平成21年度は「緑」(小学生4～6学年、中学生対象)と「まちの美化」(中学生対象)という二つのテーマで実施しました。応募作品(ポスター)は、緑に関するものが314点、まちの美化に関するものが374点で、その中から「美化」では、36点、「緑」では40点が優秀作品として選ばれました。

小中学生及び一般の方を対象に9月10日の「下水道の日」にちなみ、(社)日本下水道協会及び(株)日本水道新聞社主催で、「下水道いろいろコンクール」が実施されました。

環境保全関連講座の開催

< 生涯学習課・青少年課 >

市民や青少年を対象に、環境保全に関心を持ってもらうため、表7-7のとおり講座を開催しました。

表7-7 環境保全関連講座開催状況

講座名	開催期日・主催	参加者数
環境講座「ストップ!地球温暖化」	平成21年11月6日(金)・13日(金)・20日(金) 鎌倉生涯学習センター	16人
私たちの里山～広町の森～	平成21年5月10日(日)・17日(日)・25日(日) 腰越学習センター	67人

大銀河の中へ ～移動式プラネタリウム～	平成21年12月5日(土) 腰越学習センター	76人
宇宙の謎	平成21年7月7日(火)・14日(火) 深沢学習センター	56人
はじめてのハーブ栽培	平成22年1月19日(火) 深沢学習センター	24人
鎌倉の新しい紫陽花の見方	平成21年5月9日(土) 大船学習センター	39人
現存する古代魚 ～チョウザメの魅力～	平成21年10月17日(土)・24日(土) 玉縄学習センター	32人
楽しい科学「エネルギー教室」	平成21年6月7日(日) 玉縄青少年会館	40人
楽しい科学「環境教室」	平成21年10月4日(日) 玉縄青少年会館	51人
子ども科学教室「環境教室」	平成21年5月23日(土) 鎌倉青少年会館	23人
子ども科学教室「海洋教室」	平成21年12月5日(土) 鎌倉青少年会館	18人

消費生活移動教室・消費生活講座の開催

< 市民活動課 >

身近な生活知識（食の安全、住生活、金融商品の知識など）をテーマに取り上げて、学習の場を提供しています。平成21年度に開催した環境問題に関連した教室等の状況は表7-8のとおりです。

表 7-8 移動教室・消費生活講座の概要（環境問題関連）

講座名	内 容	参加者
夏休み子ども教室 実験！飲み物の甘さと排水への影響	ジュース、菓子などに含まれている糖分を実験によって確認し、また、排水への影響などを学ぶ	42人

こどもエコクラブ

< 市民・事業者 >

次世代を担う子どもたちに対する環境保全活動・学習の場として、平成7年度から環境省が主唱して都道府県や市町村との連携で始まった「こどもエコクラブ」があります。こどもエコクラブは、子どもたちが自発的に楽しく継続的な活動を行うことを目的としています。

なお、市内のクラブ数は、表7-9のとおりです。

表 7-9 こどもエコクラブ登録数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
クラブ数	3	3	3
メンバー数	140人	138人	204人

(3) 各主体の連携

「環境共生都市の創造」に向けた具体的な目標を達成していくためには、市民、事業者、滞在者、市のそれぞれが環境に関心を持ち、環境に対する自らの責任と役割を理解することが重要です。市民団体等の協力を得て、環境教育・学習を推進するとともに、自発的な環境保全行動の取組を活性化し、その活動を広げ、地域社会全体に定着させていかなければなりません。

環境保全団体活動に対する支援

<環境保全課>

市では、市内の環境保全団体の自発的な活動を促進するための支援策として、環境保全に関する学習会等を行う場合に講師を派遣する助成のほか、活動における通信費の負担を軽くし、より多くの環境保全情報を提供するため、環境保全団体の会員の方への会報などを郵送する通信助成を行っています。さらに、環境保全団体が実施する催しについての後援も行っています。後援の内容は、後援名義の使用承認、催しの施設提供、「広報かまくら」への掲載及び必要な電話の取次ぎなどです。なお、これまでの実施状況は表7-10のとおりです。

表 7-10 環境保全団体に対する支援の実施状況

項目 年 度	通信助成		講師派遣助成		後 援	
	団体数	支援実績	団体数	支援実績	団体数	支援実績
平成19年度	6	1,223通	2	3回	7	9回
平成20年度	6	1,134通	2	2回	5	6回
平成21年度	5	1,201通	2	2回	4	8回